

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第24週 (6/8-6/14) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	24週	23週	22週	21週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	6/8-6/14	6/1-6/7	5/25-5/31	5/18-5/24	6/1-6/7
			24週	23週	22週	21週	23週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	5	6	4	66
	感染性胃腸炎		32	19	18	20	144
	水痘		3	2	1	2	8
	手足口病		5	4	0	2	13
	伝染性紅斑		1	0	0	0	3
	突発性発しん		13	14	16	8	49
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		1	2	0	0	14
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	0
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	1	0	0
	流行性角結膜炎		0	0	0	1	4
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	1

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	10歳未満	ツベルクリン反応等	日本紅斑熱	女性	70歳代	病原体遺伝子の検出
結核	男性	50歳代	IGRA検査等	梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出
結核	女性	30歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
結核	女性	80歳代	病原体の分離・同定等	新型コロナウイルス感染症	女性	20歳代	病原体遺伝子の検出

*第24週は、結核4件(65)、日本紅斑熱1件(1)、梅毒1件(10)、新型コロナウイルス感染症2件(112)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第24週のコメント

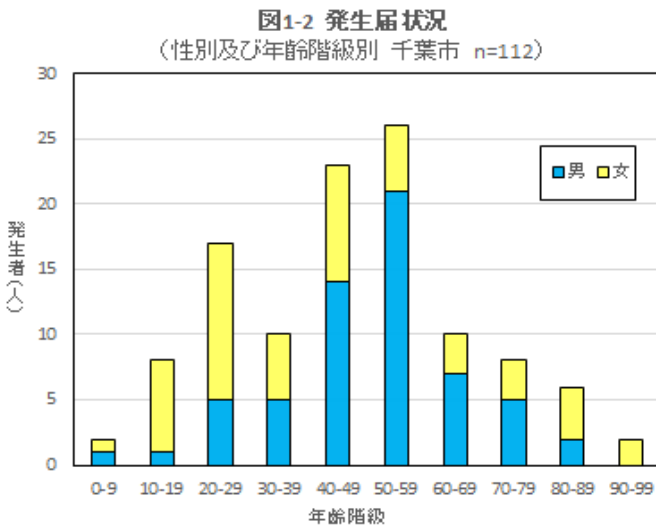
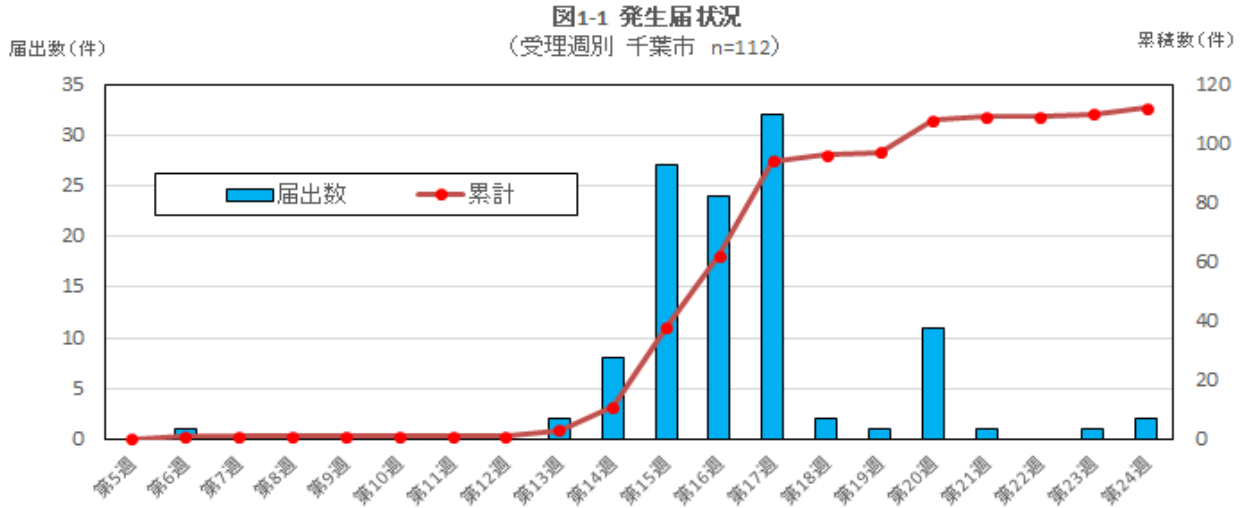
過去10年の同時期と比べて全て平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

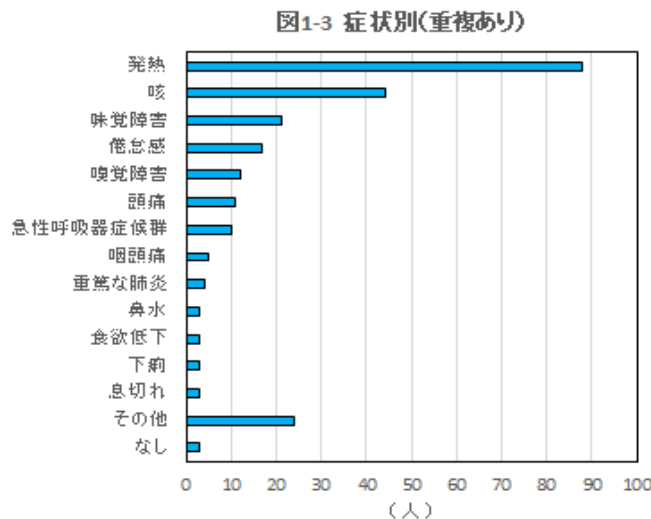
・発生届

第24週は2件の発生届があり、合計は112件となりました(図1-1)。
 性別では男性が61名(54.5%)、女性が51名(45.5%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で49.8歳で、男性で51.1歳、女性で48.2歳となっています。年齢階級別では50歳代(26名:23.2%)、40歳代(23名:20.5%)、20歳代(17名:15.2%)の順に多くなっています。年齢階級別の男女比は、男性は40歳代~70歳代で占める割合が高いことに対して、女性は10歳代、20歳代及び80歳代以上で占める割合が高くなっています(図1-2及び表1)。
 症状は、発熱(88名:78.6%)、咳(44名:39.3%)、味覚障害(21名:18.8%)の順で多くなっています(図1-3)。



中央値	51.1	48.2	49.8	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	1	2	1.8%
10-19	1	7	8	7.1%
20-29	5	12	17	15.2%
30-39	5	5	10	8.9%
40-49	14	9	23	20.5%
50-59	21	5	26	23.2%
60-69	7	3	10	8.9%
70-79	5	3	8	7.1%
80-89	2	4	6	5.4%
90-99	0	2	2	1.8%
100-	0	0	0	0.0%
計	61	51	112	100.0%
	54.5%	45.5%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別



・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第24週(2020年6月14日時点)までに4007例(検体数4196)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は3749例(うち陰性化確認等248例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等67例の検査を実施しました。

陰性化確認等248例を除いた市中感染・輸入例疑い事例3501例(検体数3639)については、陽性は112例(陽性率:3.2%)でした(図2-1)。陽性率について、年齢階級別では50歳代(5.5%)、10歳代(5.3%)、40歳代(4.2%)の順で多くなっています(図2-2及び表2)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

(週別 千葉市：6月14日現在 n=3501)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

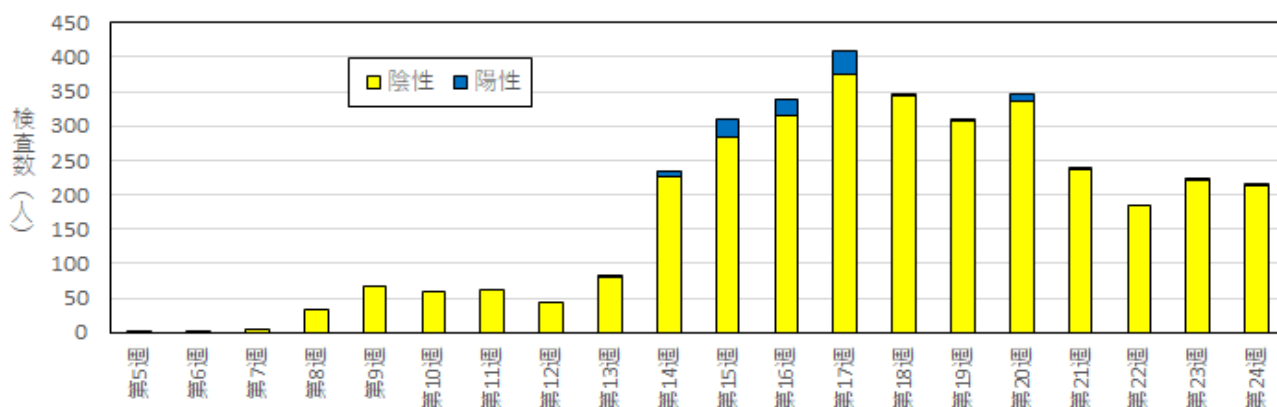
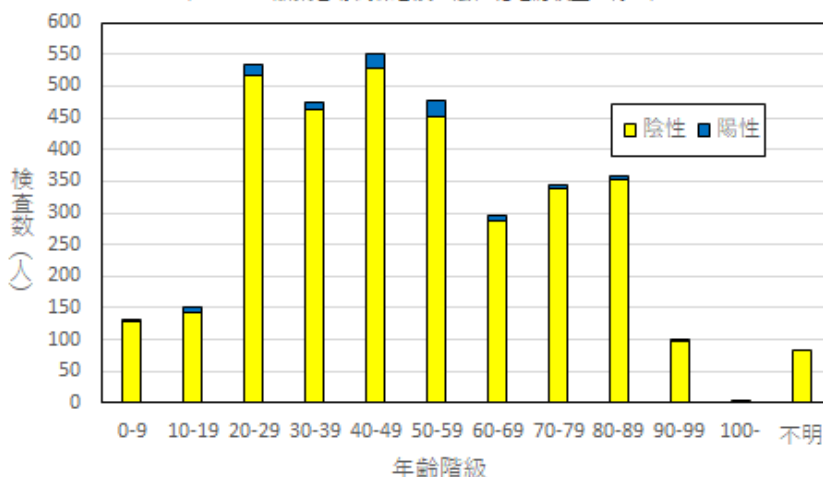


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

(年齢階級別 千葉市：6月14日現在 n=3501)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	2	128	130	1.5%
10-19	8	142	150	5.3%
20-29	17	517	534	3.2%
30-39	10	464	474	2.1%
40-49	23	528	551	4.2%
50-59	26	451	477	5.5%
60-69	10	286	296	3.4%
70-79	8	337	345	2.3%
80-89	6	351	357	1.7%
90-99	2	97	99	2.0%
100-	0	4	4	0.0%
不明	0	84	84	0.0%
計	112	3389	3501	3.2%

表2 年齢階級別の検査状況